

シンポジウムへのご案内

リスクと戦略に関わる新しい展望

主催：日本リアルオプション学会

協賛：早稲田大学ファイナンス研究センター、早稲田大学ファイナンス稲門会
日本感性工学会

日時：2014年11月22日(土) 13:30-15:50

場所：東洋大学 白山キャンパス 5号館 3階 [5310] 教室
文京区白山 5-28-20

交通アクセス <http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

参加費（資料代）1,000 円（参加申込時に、事前振込みでおねがいたします。）

趣旨：現代の産業社会が直面する多様なリスクは、今までに無い様相をもって、私たちに新しい課題を提起しています。それらは、また、新しい機会を示唆し、戦略の再構築を促します。これらの問題に取り組んでこられたお二人の専門家にご講演をいただきます。

プログラム

司会：小林 孝明 氏 野村総合研究所 上級研究員

13:30-13:45 会長挨拶 大野高裕 学会長

13:45-14:45: 講演 1: 多様化するリスクと事業継続マネジメントにおける企業間・官民連携の重要性

講師：渡辺研司 氏 名古屋工業大学 教授

[概要] ますます不確実性が増す現代社会において、組織経営を取り巻くリスクは多様化、複雑化し、「想定外」のインシデントに備える事業継続マネジメント（BCM）の重要性が認識されつつある。しかしながら、様々な社会・経済活動が組織や国を越えて水平分業化されたネットワーク型社会における BCM の実効性確保には、個別組織の取り組みだけでは不十分であり、企業間・官民連携が不可欠である。本講演では、経営リスクの多様化・複雑化と事業継続マネジメント（BCM）の展開状況の概説と、今後のインシデント発生における社会セキュリティ維持、レジリエンス強化に必要な組織間の相互運用性（interoperability）構築のあり方についての考察を展開する。

14:50-15:50: 講演 2: 金融ネットワークのシステムリスク分析
—企業経営への示唆—

講師：西口健二 氏 日本総合研究所 理事

[概要] 危機を経て、金融機関の行動とマクロ経済・市場との相互関連性が強く認識されるようになっている。その背景として金融ネットワークの構造が飛躍的に複雑になったことがあり、個々の金融機関の行動が瞬時に連鎖・循環して金融システム全体や経済へ悪影響を与えうる。これは「金融ネットワークのシステムリスク」といえるものであり、本講演では、その分析の最新モデルを紹介する。また、その前提となる統合リスク管理を俯瞰し、さらにケーススタディとしてシャドーバンキングの影響をシステムリスクの視点から明らかにする。そして、これらの分析からの示唆として、企業間の連鎖性がますます強まる中、今後の経営で何が鍵を握るかを展望する。

ご参加の申込み先：ホームページ <http://www.realopn.jp/> から、参加申し込みをお願いします。また、参加費は事前振込みでお願いします。日本リアルオプション学会の2014年研究報告会の一部ですので、シンポジウムのみのご参加は、定員50名にて、お申込を打ち切らせていただきます。